

<b>学校教育目標</b>	笑顔とやさしさがあふれる北方の子 (知)知識技能を身につけ、ともに学びあう中で培った力を、様々な場面で生かす子どもを育てます。 (徳)自他のよさを知り、共に大切にしたい思いやりの心を育てます。 (体)心身ともに健康で、進んで運動に取り組む、たくましい子どもを育てます。 (公)自分たちの地域を愛し、地域の一員として共にかかわる子どもを育てます。 (開)自分の役割を自覚し、自ら取り組む、自立した子どもを育てます。				
	学校概要	創立 149 周年	学校長 今野 裕子	副校長 重泉 正昭	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 4
児童生徒数: 615 人		主な関係校: 港中学校 仲尾台中学校			

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>港中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
自らの課題を見出す力 情報を活用する力 主体的に考え、課題を解決しようとする力	港中学校 元街小学校 北方小学校	○生涯にわたって主体的創造的に生きる力を育もうとする子ども ○この地を愛し、この地から愛され、この地を創る子ども ・「多様な情報を活用し、自らの課題を進んで解決しようとする子どもの育成」を目指して、教科領域にとらわれずに、資質能力を育成するために校内で研究を進めていく。 ・港中学校ブロックでの情報交換や交流日の活動等に加え、仲尾台中学校とも情報共有と交流活動をすすめ、2中学校区をもつ北方小の現状を踏まえて、地域に生きる子どもを育成していく。

<b>中期取組目標</b>	○誰もが安心して学ぶことができ、一人ひとりが個性を生かしながらお互いを認め合う、生き生きとした学校にします。 ①一人ひとりを大切にし、教職員との信頼関係をベースにして規範意識を醸成しながら、いじめのない学級・学校をつくります。 ②もの・ひと・こと・本物を大切にした体験的な学習を大切にし、個に応じた適切な指導と必要な支援に心がけ、「わかる」「できる」授業づくりの推進により、学力を向上させます。 ③異学年との交流や役割を果たす活動の中で自己有用感を育み、楽しく学校生活を送れるようにします。 ④地域とのつながりを意識した豊かなかかわりの中で、地域を愛する心と社会のために自ら行動しようとする力を育てます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きて働く知</b>	①児童一人ひとりが「わかる」「できる」「おもしろい」授業作りに努め、基礎基本の定着を図り、主体的に学びに向かう人間性を育む。 ②主題研究では研究教科を学力の基礎となる国語科に選定し、授業力向上を目指して研究を進める。
担当 主題研推進委員会	
<b>豊かな心</b>	①たてわり活動や全校児童が一緒に取り組む活動を工夫して設定し、憧れられたり頼られたりする相互関係の中で高学年を育て、下学年も育てていく。 ②ひと・もの・こと・本物を大切にした体験的な学びを工夫して設定し、豊かな心情を育てていく。
担当 特活部・道徳部	
<b>健やかな体</b>	①定着してきた北方ストレッチについて、トレーナーからの直接指導の機会を工夫して設定し、ストレッチの質を高めて取り組む。体カテスト、保健室来室者数のデータを東京農大栄養学科に分析してもらい、成果を検証する。
担当 体育部	
<b>公共心と社会参画</b>	①学級や学校の為に、仲間と力を合わせて働くという価値を、学級の当番活動、給食当番、黙働清掃を通して意識し、児童が実感できるようにする。 ②周りの地域資源を活用し、人とのつながりを意識して教育活動を進め、地域社会を大切にしようとする態度を育成する。
担当 保健安全指導・体験交流学習委員会	
<b>未来を拓く志</b>	①一人ひとりを褒めて認めることで、自信と意欲につなげ、子ども同士で褒め合い認め合う活動を工夫して充実させ、自己有用感を育む。 ②学校での教育活動をSDGSの理念で再価値付けして折に触れて示し、SDGS理念の意識化を図る。
担当 人権福祉教育委員会	
<b>特別支援教育</b>	①関係機関との連携協働により、得られた情報や助言を生かし、個に応じた指導の質を高めていく。 ②特別な教育的ニーズのある児童への見取りと具体的対応について、全校で共通理解を図り、学校としての指導と支援の質を向上させていく。
担当 特別支援教育委員会	
<b>児童生徒指導</b>	①教職員との信頼関係をベースにし、生活・学習の規律や約束を指導し、規範意識を高める。 ②相手の話をしっかり聴く姿勢を育てる。 ③学校カウンセラー、SSWや関係機関と連携し、家庭の状況を踏まえつつ、寄り添いながら個に応じた指導と支援を行う。
担当 児童指導委員会	
<b>地域連携・学校運営協議会</b>	①幼保小連携推進地区事業3年目校として、円滑な接続と双方の保育教育の充実を目指した取組を工夫して進める。 ②10月に学校運営協議会を立ち上げる。
担当 外部機関渉外・幼保小教育連携委員会	
<b>いじめへの対応</b>	①新年度体制の中で、改めていじめ認知の最新定義を全職員で共有し、いじめ認知の精度を上げていく。同時に、日々の子どもの様子を見取る力を向上させ、生活アンケートや子ども面談を活用して、いじめの早期発見早期対応につなげる。 ②いじめ防止対策委員会を再発防止に役立てる。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b>	①教職員の入れ替わりが多いことをチャンスにして組織改編を進め、学校組織のスリム化を図る。同時に経験年数を多様に組み合わせることで、教職員相互の人材育成を図る。 ②引き続き、メンターチームの活性化を図り、教師力の向上につなげる。
担当 教務会・メンターチーム	